



本物を走れ

RUN THE AUTHENTIC

アテネに向かうマラソンロード
MARATHON TO ATHENS

第31回アテネ・クラシック・マラソン

バルカンの勝者グレゴリス・ランブラキスに捧ぐ

31st ATHENS CLASSIC MARATHON

Dedicated to the Balcanm Champion Gregoris Labrakis

2013年11月10日 日曜日

SUNDAY 10th NOVEMBER 2013

マラトンの戦い-紀元前490年

マラトンの戦いがスポーツ競技としてのマラソンの起源であることは有名です。伝説によれば、アテネの戦士はアテネがペルシヤに勝利したことを伝えるために、マラトンからアテネまで走りぬけ、アテネ議会で割って入り、「我ら勝利せり」と叫んだ後に、息絶えたとされています。



第1回五輪マラソン競技-1896年

ギリシャ戦士の故事を元に、1896年第1回アテネ近代オリンピックでスポーツ競技としてのマラソンが創設され、マラトンからアテネまでの距離40^キ。(後に42.195^キ。)は、オリンピックの歴史の中で最も重要な長距離競技に採用されました。最初のオリンピックの金メダリストはギリシャ人のスピロス・ルイスでした。



息を止め、時を待ち、一生に一度の価値ある走りに備えよ!

アテネ・クラシック・マラソンの今: 伝説の道

アテネ・クラシック・マラソンはすべてのマラソンランナーにとって格別の意味があるコースです。伝説の道! それはアテネでの第1回近代オリンピック、そして2004年のオリンピックでもコースとして使われました。マラソン競技はマラトンの町からスタートし、マラトンの霊廟を周り、最後は大理石でできたパナシナイコの歴史的スタジアムにゴールします。

ゴールとなるこの競技場で4万人の観客がランナーを待ち構えています! ついにゴールラインに到達したランナーが感極まる瞬間です。



アテネ・クラシック・マラソン概要:

5つのレース:

- ・マラソン (& パワー・ウオーキング): 42.195km
- ・10km コース: マラソンコースの最終5kmを往復
- ・5km コース: アテネの名所巡り
- ・1000m ファン・ラン
-ギリシャ人スペシャルオリンピック参加者向け
- ・700m キッズ・ラン
-9~12歳の子供向け(人数制限あり)



4つの名所・旧跡:

- ・マラトンの歴史的スタート地点、マラトン
- ・マラトン霊廟
- ・ザッピオン会堂、アテネ中心部
- ・パナシナイコ競技場

3つのパラレルイベント:

- ・アテネ・クラシック・マラソンEXPO; レース直前の木曜、金曜及び土曜日にスポーツ・観光グッズの展示・販売-3万人以上のランナーと観光客を魅了します。
- ・アテネ・クラシック・マラソン開会セレモニー・採火式; レース前日(土曜日)にマラトン霊廟の前で行われます。
- ・AIMS(国際マラソン・長距離レース協会)シンポジウム; レース前日にレース主催者を交えて行われます。



エントリー期間 Registration period

毎年、3月初めに開始し、定員に達するまで受け付けています。

特典 The Registration Package

- ・ウェルカム・サービスーアテネ国際空港に受付窓口 (Reception Desk) が設置されます。
- ・50% ディスカウント・カード (Discount Card) ーレース前3日間とレース後2日間に全ての公共交通機関で有効 (半額) です。
- ・走者名入りナンバーカード (ゼッケン)
- ・アテネ・クラシック・マラソンTシャツと記念品のプレゼント。
- ・50% ディスカウントーパルテノン神殿と新アクロポリス博物館の入場料が半額となります。
- ・無料移動サービスーアテネからマラソンのスタート地点まで (レース当日)。
- ・電子計測 (チップによる)。
- ・特別完走メダルーパナシナイコ競技場をかたどったものをプレゼントします。

アテネ: その魅力 トップ10

1. 強い太陽と幸せな笑顔
ー大地に降り立つ間もなく感じる
2. リラックス感
ーアテネ・紺碧のスカイライン
3. パルテノン神殿 & 新アクロポリス博物館
4. 歴史の散歩
ープラカの街並みとモナステラキの蚤の市
5. 秋の海水浴
ー中心部から20分のアテネ海岸線
6. ポセイドン神殿
ースニオン岬 (中心部から1時間)
7. パナシナイコ競技場
ー1896年オリンピック・メインスタジアム
/アテネ・クラシック・マラソン会場
8. ガジでナイトライフ
9. ひっそりと佇むギリシャ料理レストラン
ー流行と伝統のコンビネーションをお手頃な価格で
10. ポジティブ思考
ー西洋文明発祥の地に行き交う人々を見て

